

はじめに

我が国における交通事故による死者数は平成 13 年時点で年間 8,747 人、交通事故による負傷者数は 118 万人を数え、依然として厳しい状況にある。このような状況下、ここ数年来、科学的分析に基づいた交通安全対策の重要性が謳われ続けており、データベースの整備、各分野の専門家による交通事故要因分析等が実施されてきている。当研究室でも、主に警察庁・国土交通省が整備してきている交通事故統合データベースを活用し、交通事故発生要因のうち、主に道にまつわる要因に着目して分析を行ってきているところである。本報告では全体的な傾向を把握することを念頭において、マクロ分析の方法を用いて行ってきた分析成果の一部をとりまとめたものである。